

活気と潤いがあり、みんなが「育つ」学校を目指して

## 自分の一歩 みんなの一歩

### 校長室だより II

朝霞市立朝霞第一小学校

令和3年6月30日

No.30 (合同No11)

校長 野口 邦彦

現時点では、両方の長所を生かした

## 「ハイブリット」が100%ではないのでは

教育界も急速に、デジタル化の方向に動いているように感じます。急に動き出した理由としては、未曾有の新型コロナウイルスの影響により、今まで脆弱だった部分が露呈し、この機会に一気にやっつけてしまおうという事だと思いますが、あまりにも性急

すぎているようにも感じます。世界や社会が「デジタル化」の方向に進んでいることは否めませんが、子ども達の教育にとって「デジタル」一辺倒でいいかと言うと、私は違うと思います。子ども達の将来を考えた時、「ICT活用」や「プログラミング」等のデジタル技術が重要になってくることは確かです。でも、それと同じくらい、読む力、書く力、(実際に人と)話す力も、大切だと思います。大人になれば、それもデジタルで代用できるかもしれ

ませんが、色々な意味で未熟で、発達段階にある子ども達にとっては、実際に書く、聞く、話す力は、絶対に必要だと思います。数十年後には、「教科書はデジタル、ノートはタブレット」という時代が来るかもしれません。でも、現場感覚としては、現時点では、学校には「アナログ」と「デジタル」両方が必要であり、互いの長所を生かしながら、ハイブリットでいくことがいいのではないかと、私は感じます。

手で書く これも大切



デジタル これも大切



### こちらにも実際に見てもらおう方が

先週は授業参観も行われました。コロナ禍において、県内では密を避けるため、映像配信という所もあるみたいですが、私としては見学者数を減らす工夫をした中でも、子ども達の姿を実際に見る機会をつくっていきたいと思います。教室の様子、クラスの雰囲気等は、中々映像では伝わりません。直に見るから価値があります。授業参観も工夫しながらも、今後も何とか実施できればと思います。

人を成長させるのに

魔法はありません。

意欲を変化させるのです。

<ラグビー エディ元全日本監督>

~そのきっかけが、「デジタル」であっても、「アナログ」であっても構いません~